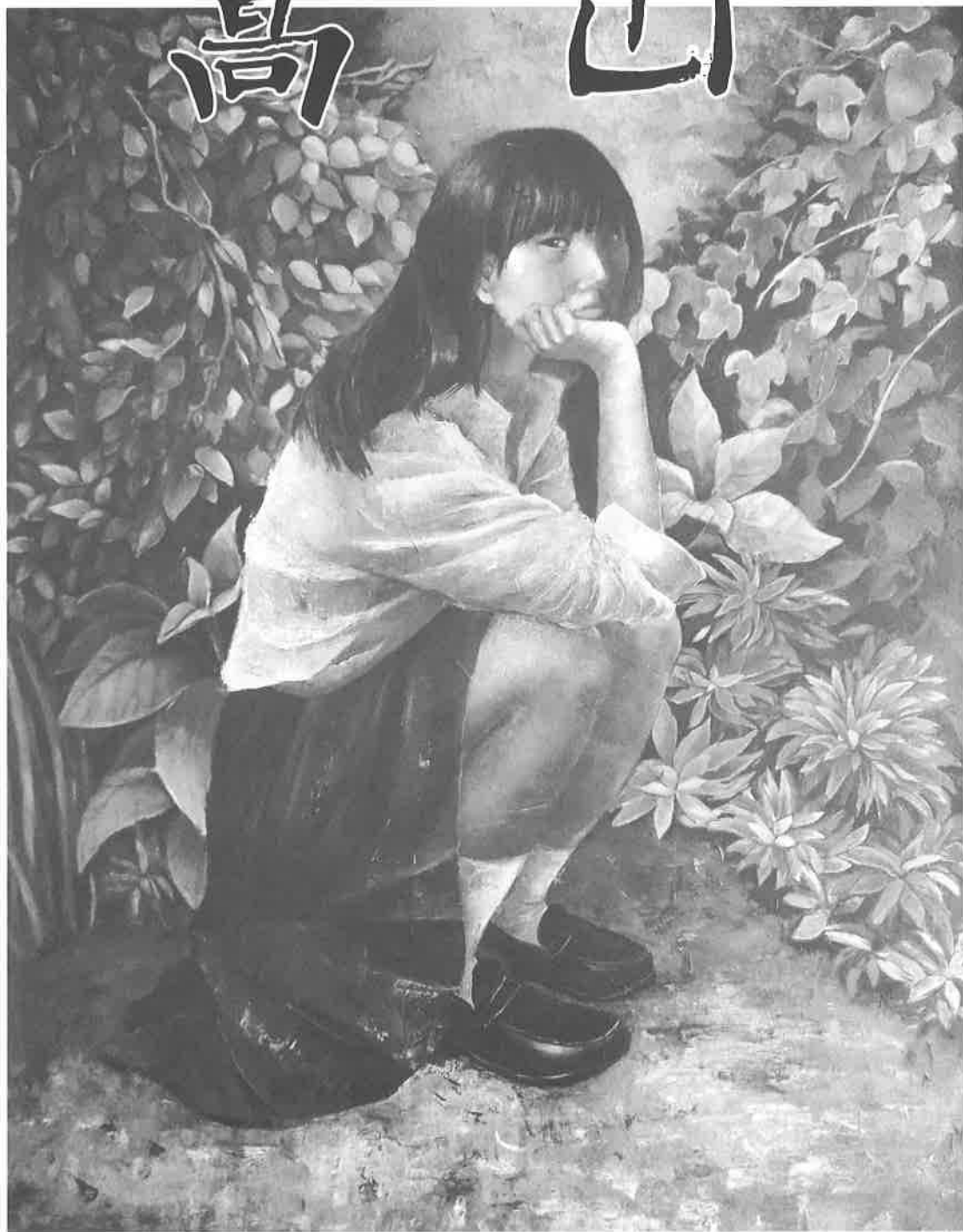


PTA会報

No.59・60 2014.3

嵩山



松江東高

目次

○ P T A会長挨拶	1
○ 校長挨拶	2
○ 創立30周年記念行事	3
○ 三年間を振り返って	6
○ 卒業生に贈る言葉	10
○ 活動成績一覧	15
○ P T A会務報告	24
○ 新任教職員紹介	26
○ 編集後記	29





「ご挨拶」

PTA会長 奥田徳雄

日頃より、本校のPTA活動につきましては保護者の皆様方のご理解とご協力を賜り心より御礼を申し上げます。早いもので本年度も卒業、進級の季節を迎えました。三年生の保護者の皆様におかれましては何かと忙しい日々が続いていることと思います。卒業生の皆さんは、不安と希望を抱いて新たな生活が始まり、又進級を控えた皆さんは新しい学年での勉強・部活動がスタートします。卒業生の皆さんは松江東高校での三年間はいかがでしたでしょうか？時が過ぎ行くのは本当に早いものですが、時が早く経過して行っても松江東高校で学んだ事や経験した事、この学校で培った友情は皆さんにとっては貴重な財産として残ると思います。また、進級を控えた皆さんは日々を大切に、たくさんの事に挑戦して友達との絆を深め一年間を過ごして頂きたいと思えます。

さて本年度のPTAの活動としましては、昨年七月十二日に鳥根県民会館に於いて「第五十五回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会鳥根大会」の開催がありました。「縁を結び絆を育む」PTAから広がる輪だんだん」をテーマに中国高等学校のPTA役員の皆様を迎えて盛大に開

催されました。本校のPTAは受付・案内の担当になっており、猛暑のなか、前日より準備と大会当日の運営を保護者の皆様と先生方のご協力を頂き、おかげをもちまして大会は大成功のうちにならなりました。誠に有難うございました。又十月には「松江東高等学校創立三十周年記念事業」の式典が多数のご来賓の方々のご臨席のもとに盛大に挙行されました。記念講演では講師に池上彰氏を招き「学び続けること」と題して講演があり、生徒達は熱心に耳を傾け、人間は何歳になっても学ぶことが必要だという事を改めて認識し、質疑応答では何人も生徒が積極的に質問するなど有意義な記念講演となり良い経験をしたのではないのでしょうか。

教育環境整備事業としては二点あり、一点は「屋外運動場照明の増設」です。既設の照明に加えて十二基の照明を新設いたしました。これにより練習内容が今まで以上に充実し好成績につながるものと期待をしております。二点目は「視聴覚機器の整備」です。最新式のプロジェクターを整備しブルーレイやDVDを録画・再生できるBDレコーダー、ワイヤレススピーカー、画面に直接

書けるプラズマディスプレイなどの備品も合わせて整備しました。授業はもちろん総合学習や部活動のミーティング等、学校活動の多くの場面で活用されることを期待しております。

そして記念誌の発刊を予定しており、以上の記念事業に対し会員の皆様より貴重な会費を頂きましたこと、各方面より多大なるご支援とご協力を戴きましたことに対し深く感謝申し上げます。私たちPTAとしては三十周年を節目として、これまでPTAとして取り組んだ活動を大切に、新たな課題解決に向けた取り組みを取り入れていながら発展させることが必要と考えております。そして学校と保護者とが一体となり良い教育環境を整え教育水準の向上と部活動の活性化に努めたいと思っておりますので引き続きご理解とご協力を賜りますように宜しくお願い申し上げます。本校がいつまでも温かな場所であるよう在校生の保護者の皆様はもとより、お子さんが卒業された保護者の皆様、そして卒業生の皆さんも引き続き本校の生徒達の健全な育成を見守って頂きたいと重ねてお願いを申し上げます、ご挨拶に代えさせていただきます。





「一人立ち」

校長 村上浩二

我が子が立派に成人して、社会人として自立し、幸せな家庭を築いてほしい。親なら誰もがそう願う。子が社会人として自立するには、まず就職することが肝心。親はどんな職業を思うのだろう。

激変の時代、技術は日進月歩、経済は乱高下。自分たちが学生だった頃には聞いたこともない職業が世に溢れる。そんな新しい業種はわからないから、我が子が就職先を選ぶことに否定的になる。昔からあつて安心できる業種：公務員、教員、看護師、検査技師など特殊技能の職が頭に浮かぶ。子に押し付ける気はさらさらないのだが、多分言葉の端々に婉曲に感じさせてきたのかもしれない。

学校では、従来の職業観育成といった進路指導は役に立たなくなつた。生徒が大学を卒業するころには、聞いたこともない職業の時代が来ているかもしれないからだ。既成の業種でなく、起業家が試みる新しい職業が次々と脚光を浴びる時代である。生徒たちはどんな職業にも順応できる汎用能力を求められている。そんな新しい時代を生き抜くには、どんなことを大切にして育てなければならぬのか。

先日の業界別講話で、鳥根県商工労働部産業振興アドバイザーを勤める矢野仁氏に講演いただいた。「仕事は自分では選べない。企業から与えられるものだ。取り組んでいればおのずと好きになる。」そのために必要な「頭の良さ」として、物

知り、機転、地頭（じあたま）の三点を挙げられた。基本は知識が豊富であること、次に臨機応変な対応力を持つこと、そして最後に思考能力が高いことが最も大切だと強調された。知的好奇心があること、課題を解くときの仮定設定の工夫如何が、仕事ができるできないの岐路だという。

これこそ世の中を生き抜く力つまり人間力をさしている。この人間力に至る根本が日常生活力である。状況の急変に機転を利かせて対応する。いやそれよりも先に急変を予見する好奇心とそれを分析する知識量が必要だ。そして対応の結果を仮想して最良の対応を決定していく。それが地頭を持つということだ。

日常生活力のほとんどは、家庭で培う。限定的な学校教育では及ばない。毎日の天気変化に応じた行動力。家族の健康状態を勘案した役割感。地域社会との関わりの中で育つ社会性。そんな大切な機会を親は勇気をもって、子に与えたり委ねたりしてきたらどうか。

上級教育を求めていざれ県外に巣立つ子ら。防災・防犯意識もちがう。公共交通機関も多種多様な地域社会の人間関係も異なる。そこで「一人暮らし」をする子ら。親は今、どのような将来を予測し、何を育て、どう授けなければならぬのか。

矢野氏は、生徒たちに語りかける中で、「図太さ」の大切さも訴えられた。今後二〇二〇年まで、東南アジアの購買人口は六億人増加すると予

測されているそう。日本の人口の約五倍もの市場拡大が起こるわけだ。当然日本企業は大企業にとどまらず、中小企業も今以上に一気に海外に生き残りをかけて乗り出すことだろう。異文化・異環境の中に飛び込んで、自立した社会人として役割を果たしていくには、「図太く」なければ折れてしまう。コンピュータソフト開発のマニアックな業界ですら、四人に一人が精神的に参ってしまふという。チームプロジェクトとして進む人間集団に適応できなくなるそう。

子どもが小さいころから、様々な人との関わり機会を与え続けてきたらどうか。学校はあくまでも同年代の同じ立場の人間の集まり。企業見学や業界別講話、ボランティア体験などの活動も、ほんのわずかな体験にすぎない。子どもを形成する多くの体験は、家庭が与えてくれる機会による。

小さいころから、親が天気を気にかけて「傘を持ちなさい」と指示をし、今では、朝なかなか準備のできない子に気をもみながら送り、電話一本でお抱え運転手のようにお迎えにあがる。そうして「一人暮らし」ができるのだからかと気をもみながら、県外に旅立たせる。将来を生き抜くことのできる子にする機会を逃してはいないだろうか。

獅子は千尋の谷に我が子を追い落とすという。かわい子には旅をさせるともいう。目に入れても痛くない我が子に敢えてつらい目をさせるなど、親としては身を切られる想いだ。しかし、それでは激変の世に図太く生き残ることは難しい。心を鬼にして子を鍛える、そんなことを求める時代かもしれない。

島根県立松江東高等学校

創立30周年記念行事

創立30周年記念行事

日程 平成25年10月19日(土)

記念式典 (式場 松江東高等学校 体育館)

時間 13時30分～
次第

- | | |
|------------|-----------------|
| 1. 互礼 | 7. 来賓祝辞 |
| 2. 開式の辞 | 8. 来賓紹介、祝詞・祝電披露 |
| 3. 国歌斉唱 | 9. 生徒代表挨拶 |
| 4. 実行委員長挨拶 | 10. 校歌斉唱 |
| 5. 校長式辞 | 11. 閉式の辞 |
| 6. 教育委員会挨拶 | 12. 互礼 |



記念講演 (会場 松江東高等学校 体育館)



学食記念メニュー



時間 15時～
講師 池上彰氏
演題 「学び続けること」

講師プロフィール

1973年、NHKに記者として入局。広島放送局呉通信部を経て、東京の報道局社会部へ。首都圏向けニュースキャスターを5年担当した後、「週刊こどもニュース」キャスターを11年。2005年に独立。フリージャーナリストに。

主な著書に『そうだったのか！現代史』『聞かないマスコミ答えない政治家』（いずれも集英社）、『伝える力』（PHP研究所）、『学び続ける力』（講談社）ほか。



式典の ようす



三年間を振り返って

生徒と保護者

東高の三年間を振り返って

この三年間を振り返って

34 R 奥田 紗希

保護者 杉谷 美和

東高の卒業を控えた今、三年前の自分と今の私とを比較すると、成長したと自信をもって言えます。そのくらい、この三年間は私にとって、大きな成長の糧になりました。

三年間を一つ一つ振り返ってみると、文武両道に苦しんだり、部活動では悔しい思いをしたり、時には自分の不甲斐なさに涙したりと、つらい事が多々ありました。しかし、そういう経験をしながらこそ、成長出来たと感じ、これからの進学先への自信にもつながっていると実感しています。そして、なにより東高で出会った仲間が私にとって一生の宝物になりました。共に机を並べて学習し、たわい無い話をして笑ったりした時間は、かけがえのない思い出であり、これからもずっと忘れることはないと思います。

東高での出会いと様々な経験を大切にしてさらに成長し続け、自分の夢に向かって頑張りたいです。

桜が満開の晴れた日、入学式と書かれた校門で我が子と写真を撮ったのが昨日の事のように思い出されます。

東高でバスケットがしたいと入学をした我が子は、その希望通りまさに部活漬けの三年間を送りました。

県内トップクラスチームにふさわしく、ハイレベルな指導をしてくださる先生、志の高い仲間、熱心な保護者の方々に囲まれ、最高の環境でプレーさせて頂いた事に心から感謝しています。

そんな我が子もいよいよ春から親元を離れ、新生活をスタートしようとしています。東高で学んだ多くの事を活かし、実りある大学生活を送ってほしいと願っています。

まだまだ未熟な我が子ですが、そんな彼にも親ながら誇らしく思える一面があります。それは、食事の時に挨拶を忘れない事です。どんなに部活で疲れていても、どんなに機嫌が悪い時でも、

「いただきます」「ごちそうさま」を欠かした事はありません。「それって当然でしょ?!」と笑われるかもしれませんが、そんな当たり前の事でもコツコツと続け、いつも感謝の気持ちを忘れない人間でいてほしいと思っています。

三年間お世話になった先生方を初め、これまで我が子を支えて下さった沢山の方々に心から感謝申し上げます。東高卒業生である事を誇りに、さあ春から思いっ切り羽ばたけ!!

東高の三年間を振り返って

31 R 飯塚 さゆり

東高での三年間はあっという間でした。高校生活は勉強、部活と忙しかったですが、沢山の良い友達にも恵まれ、充実した三年間を過ごすことができましたと思っています。

勉強は正直大変で、テスト期間中は友達と一緒に放課後学校に残って完全下校時刻ぎりぎりまで勉強。分からないところは理解できるまで先生を質問攻めにしていました。一緒に勉強を頑張れる

友達、理解できるまで丁寧に教えてくださる先生のお陰で、頑張ることができたんだと思います。

部活では吹奏楽部に所属していました。個性豊かな仲間ばかりでとても楽しい部活でした。この仲間達と楽しい時間も苦しくて辛い時間も一緒に過ごし、吹奏楽をすることができて本当に良かったです。

熱心に指導して下さいました先生方、先輩方、慕ってくれた後輩達、私を応援し支えてくれた両親、友達、そして多くの経験を積むことができた東高に感謝しています。ありがとうございます。

この三年間を振り返って

保護者 飯塚 志津子

子どもも言っておりましたが、親もあつという間の三年間でした。

振り返れば、私もドキドキした入学式。新しい環境でどう過ごすかと自問自答していた娘。部活に入れば高校生活が豊かになると、吹奏楽部に入部。これが、凄かった。朝から晩まで、毎日練習していました。その結果は上々で、私も楽しませてもらいました。感動ももらいました。どこに行っても『東高生らしく』と、きちんと振る舞う吹奏楽部員は保護者の誇りで、これもご指導下さった方々のお陰と思っています。

日々の勉強と部活の両立は見えてとても大変だと感じていましたが、先生方にサポート頂き、こつこつとこなしていました。この経験は将来の

自信に繋がると信じています。

私達親子が東高で得たものは多く、とてもこの文字数では書ききれませんが、東高で良かったと心から思います。

関わって下さったすべての方に、感謝申し上げます。

東高の三年間を振り返って

31 R 田中 慎之助

私が、東高に入学し、部活動を何にしようか悩んでいた時、友達にボート部に誘われました。その時は、ボート部と聞いて、気楽な気持ちで入部しました。

しかし、それは大きな間違いで、練習は中学の部活動とは、比べものにならないくらいきつく、当時の顧問の先生はオニのような先生でした。一時は、辞めようとして考えましたが、優しい先輩や友達に支えられ、続けることができました。

三年生になり、先輩ができて大変なことたくさんありましたが、部活が楽しいものとなり、自然とボートを好きになりました。

私は、ボートを通して、大変なことを乗り越える精神力を身につけることができ、それを乗り越えた時の達成感を得ることができました。

東高に入学して私の高校生活は、とても充実したものとなりました。

東高の先生方、本当にありがとうございました。

この三年間を振り返って

保護者 田中 絹子

東高に入学しボート部に入り、三年間充実した高校生活を送れたと思っています。

ボートについて何もわかりませんでした。ボートのおもしろさを先輩から教えてもらい後輩も増え毎日生き生きとしておりました。

日々の練習や合宿、大会に出場しボート部全員が一つになり東高生の名に恥じぬ優秀な成績を収められました。

良き仲間にも恵まれ、先生方に大変お世話になりました。感謝しております。

ありがとうございました。

三年間を振り返って

32 R 伊藤 光汰

僕の三年間の高校生活を振り返ると、部活動の出来事が思い出されます。小中高を通じてバスケットボール部に所属し、部活動をしてきましたが、その中でも高校三年間というのは、本気でバスケットボールという競技に向き合い、心技体全てにおいて成長できたと感じています。競技に対し本気で向き合うことにより、今まで以上にバスケットボールが好きになったし、もっと上手になりたいという気持ちになりました。

僕がバスケットを通じて一番大切だと感じたこ

とは、仲間と自分の思っていることを共有するということ。仲間と自分の思っている事を伝え、みんなが何を思っているのか聞き、それを受け入れることにより、チーム全員が同じ熱量を持ち前に進むことができると思います。

指導して下さる顧問の先生、保護者の方々、その他にもたくさんの人に恵まれ、ここまでやってこれたことを感謝しています。

この三年間を振り返って

保護者 伊藤 裕子

小さい頃からよく話をしてくれる子どもでしたがそれは高校生になっても変わらず、一日の出来事など様々なことを話してくれました。

学食の丼物はとても美味しいから家でも作って欲しいというリクエスト。担任の先生の誕生日にクラスのみんなでサプライズプレゼントをしたというウルツとくる感動の話。

時には自分の力のなさに弱音を吐いたことも。落ち込んだり悩んだ時に先生や友達から声を掛けてもらいありがたかったと感謝の言葉を口にすることもありました。又、バスケットの話になると私の方が一喜一憂してしまい余計なことを言ってしまうことになりました。

いろいろな会話をしたおかげで安心して学校に送り出すことができた三年間でした。

最後になりましたが三年間、温かく見守り支えてくださった先生方、共に汗を流し、笑い、時に

は涙し、喜びも苦しみも分かち合ってくれた友達（仲間）に感謝致します。

東高の三年間を振り返って

35 R 田村 真夕

松江東の学校生活は私にとってかけがえのない思い出です。

私は三年生の時に友人に勧められて書道部に入部しました。急に入った私を同級生も後輩も快く受け入れてくれました。初めは不安でいっぱいでしたが、段々と部活に行くのが楽しみになっていきました。十月に行われた書道パフォーマンスでは、部員全員が結束し、とても良い作品が出来上がりました。部活動の一つ一つが大切な思い出です。

高校生活は、充実した楽しい日々を過ごしました。しかし、辛いことも少しはありました。でもそんな時、友人が励ましてくれて、先生が待っていてくれて、家族が支えてくれました。私は自己中心的な考え方しか出来ずに、わずらわしく思っていました。今思うと支えてくれた皆に感謝の気持ちでいっぱいです。

この松江東で学んだ経験を活かして、夢に向かって進んでいこうと思います。

この三年間を振り返って

保護者 田村 千恵美

松江東高での三年間は娘が大きく成長したと感じています。以前は自分の思いを伝えることが苦手で、自分の主張より人の意見に流されやすい性格でした。二年生の終わりに急に書道部に入りたと言いました。今さら何が出来るのかと意見したところ、自分の意志で何日も考えて決めた事だからと真剣な眼差しで訴えてきました。入部後は部員の皆さんと顧問の先生方のお気遣いもあり充実した部活動となり、又素晴らしい作品も仕上がりました。

その後の娘は自分の将来像についてもしっかりと自分の意志を持つようになり、ひたすら努力している姿は我が子ながら感心しました。

この東高の三年間で学んだ皆さんの事、習得した精神力、そしてかけがえのない友人はきっと一生の宝物になる事でしょう。そして縁あって子ども三人とも東高が母校となりました。私も最後の年にPTA役員として携わらせていただいた分感慨深いものがあります。卒業式には感謝の気持ちを込めて校歌を唱えます。ありがとうございます。



東高の三年間を振り返って

35 R 寺 本 紗 恵

私にとって高校三年間はとても早かったです。

入学した当時は、ちゃんと勉強と部活の両立ができるのだろうか、友達とうまくやっていけるのだろうかという不安がたくさんあったのを覚えています。しかし、高校生活に慣れ、気付いたら充実した毎日を送っていました。球技大会や東雲祭などの行事では、クラス一丸・分団一丸となつて楽しむことができよかったです。松江東高校の先生方は、面白いけど素晴らしい先生ばかり。小さなことでもバカみたいと一緒に盛り上がった友達、可愛い後輩たちに出逢えて本当によかったです。高校三年間で学んだ事や経験した事は数えきれないほどあります。これらすべてをこれから生きていく中で十分に活かし、成長していけたらいいなと思います。

松江東、大好きです。

この三年間を振り返って

保護者 寺 本 洋 子

あつという間の三年間。

たくさんの人と出会い、色々な経験ができたことに感謝し、「驕ることなく 臆することなく」一歩ずつ歩んでもらいたいと思います。

校長先生をはじめ、諸先生方には大変お世話に

なりました。

ありがとうございました。

東高の三年間を振り返って

35 R 加 藤 優 奈

高校生活を振り返ってみた時、私の頭に一番思い浮かぶのは部活動です。

チームメイト全員で同じ目標に向かい、時には支え合い、時にはお互いに厳しい事も言い合いながら自分達の目標達成に向けて必死に頑張りました。

私はキャプテンという重要な役割をさせてもらいました。キャプテンとして何をしたらいいのか、どうやってチームを引っ張ればいいのかと何度も何度も考えました。何も出来ない自分が嫌で、投げ出したくなる時もありました。でもそんな時、チームメイトのみんなや先生がいつも支えてくれました。話を聞いてもらったり、笑わせてもらったりしたお陰で私は最後までキャプテンをする事ができました。頼りにならない私に最後までついて来てくれたチームメイト、熱心に指導して下さいました先生方、また支えてくれた家族への感謝の気持ちを忘れず、大学生活も自分らしく頑張りたいと思います。

この三年間を振り返って

保護者 加 藤 美 穂

三年間の高校生活は本当にあつという間。

良き先生、友人に囲まれ、毎日がとても充実していた様子。「今までの人生の中で今が一番楽しい」と度々言いながら三年間を過ごしてきました。本当に幸せなことです。

バレー部での三年間は特に貴重な時間でした。日々の練習や遠征を重ね、部の仲間とは家族よりも濃い時間を過ごしたかもしれません。笑ったり泣いたり、苦しい時も辛い時も、支え合い乗り越え、最後は本当に「笑顔で笑顔で」終える事ができました。それは娘にとって人生の宝物になるものだと思います。そして私自身もまた、娘とおして出逢えた先生方、保護者の皆さんと楽しい時間を過ごせた事、たくさんさんの思い出を作る事ができた事に感謝しています。その機会を与えてくれた娘にも「ありがとう」と伝えたいです。

これから先も、出会いを大切に、感謝の心を忘れず、夢に向かって自分の道を歩いて行って下さい。



卒業生に贈る言葉

担任・副担任・学年付の

先生方より

「贈る言葉」

学年主任・33R担任 松村 雅之

二十九期生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。
います。

私が東高に来たのも三年前。みんなと共に歩んだ東高でのこの三年間、今振り返るとあつという間の三年間で、私にとっては「えっ、もういくのか。」という感じですよ。まだまだ教えたいことや、教えて欲しいことがたくさんある。まだまだ一緒にやりたいことがたくさんある。でも、行くのか。そうか、それなら止めない。しつかり前を向いて、自分の道を切り開いて行ってくれ。心から応援している。

さて、私事ではありますが先日四十三歳になりました。「ひよんなこと」から誕生日当日はクラスで盛大な拍手でお祝いしてもらい、何とも嬉しい思いをさせてもらいました。「おめでとうございませう。」の言葉が心にしみました。声で聞く言葉の力を感じた瞬間でした。今の世の中、スマホやタブレット端末などを通して情報を伝える場面

が多いことと思いますが、「声で伝える。」「会って伝える。」ということをお大切にしてみてください。贈る言葉としては、似つかわしくないかもしれませんが、せんが、様々な場面で二十九期のみんなから、言葉を通してパワーをもらった私からの餞とします。それでは元気で！

『タカラモノ』

31R担任 周 藤 雅

三年生のみなさん、卒業おめでとうございます。みんな緊張した入学式。身体測定。スポーツテスト。クラス全員が学食で食べたランチ。土曜講座。アクアスへの遠足。定期考査。今回は何で怒られるのか学年終礼。意外な人物が活躍する球技大会。ちよつと多めに書いてみた学習時間調査。なかなかまとまらなかった東雲祭の合唱。卒業人講話。みんなで作ったクリスマスケーキ。スキー研修。高志チャレンジセミナー。ステツプアップセミナー。企業見学。鳥取花回廊。大雨だった蒜山高原センターへの遠足。模試。講座。ETC。

センター試験。頑張つて学校に来て達成した皆勤。成績が上がらず悩んだこと。成績が上がって喜んだこと。部活で笑ったこと、泣いたこと。友人と語り合ったこと。友人と意味もなくもりあがったこと。友人関係で悩んだこと。進路のことで悩んだこと。親と喧嘩したこと。そのすべてがいまのみんなをここまで成長させてくれた宝物です。その一つ一つは、きっとこれから意外な形で何かしら役にたつてくれると思います。三年間、楽しんでてもらいました。私も少しは成長できたかなと思います。ありがとうございます。この三年間が私のタカラモノです。

「旅」

31R副担任 渡 邊 渉

卒業おめでとう。若い間にぜひ、旅に出よう。旅は、人間の「小ささ」と「大きさ」を教えてくださいませう。

私は十代最後の秋に、京都から愛媛まで、三人の旧友を訪ねる自転車の旅をしました。一日目は、

脚慣らしのつもりで大阪へ。二日目は神戸で台風による暴風雨に見舞われ、十四時間かけて岡山へ。三日目は瀬戸内海をフェリーで渡り、高松から再び陸路：ようやく松山に着いたのは日付が変わる頃でした。

携帯も地図もない、標識だけが頼りの六府県五〇〇km。「松山〇〇km」の数字が一減るごとに、自分の歩みの「小ささ」を知りました。夕闇の先に懐かしい笑顔が浮かぶたびに、友人の存在の「大きさ」に気づきました。

あれから十五年、車や飛行機でどこへでも行けるようになり、携帯電話でいつでも話せるようになりました。しかし、それらは何となくカタチを伴わない、不確かなものに思えてなりません。自分で確かめた「小ささ」、そのとき感じた「大きさ」だけが、ホンモノなのだと思っています。

迎えてくれた三者三様の言葉が、今でも私を支えてくれます。「お前、相変わらずアホやな〜」「次、無茶したら本気で怒るで」「話を聞くくらいしかできんけど、いつでも聞くん」

みんなも、良い旅を！



「松江より島根は広い。島根より日本は広い。日本より世界は広い。世界より……。」

世界より、頭の中が広いでしょう。とらわれちゃだめだ。」

32R担任 中村 伯也

リンゴはどうやって食べるのが、おいしいのだろうか。煮る、焼く、蒸す、天ぷら、そのまま食べる。いろいろ考えられるけれど、そのまま食べるのがよいような気がする。では、そのままのリンゴをどんなふう食べるのか。

切って皮をむく、まるごと囙る、ウサちゃんの耳にする、などなど。全日本国民にアンケートをとったわけではないので確かなことは言えないが、たぶん「まるごと囙る」が支持されるような気がする。「いやいや、わたしはリンゴを薄くスライスして、味噌汁に入れて食べるのが一番ですな」と言う人は、あんまりいないような……。

ところで、スイカは、どうやって食べるのか。まるごと囙る人はいないでしょう。ウサちゃんの耳にする人もいないでしょう。況んや味噌汁をや。スイカをまるごと囙る。こんなことをやる人がいるのか、と思うけど、いるんですね。もちろん、スイカの皮がついたまま囙るのは困難です。で、まるごとリンゴの皮を剥くように、まるごとリンゴの皮を剥いてみます。その人によると「全体が少しづつ白くなっていく」（白い薄皮があるからね）、「削りすぎると、その下の赤い部分が

滲んだように赤く浮き出て思わずハツとする」「赤い果肉のところどころに、削り残した白い部分の葉脈のような網目が残る、それがなんだか白い血管のように見え、火星人の脳髓のようでもって怖い」とあります。

ところで、スイカの皮の付近はおいしくない。中心に近づくほどおいしい。だけど、まるごと剥いたスイカは、おいしくない外側から食べてゆかない。すると「最後に中心の一番甘いところが残ることになる」。どんどん食べていつて最後に残った野球のボールほどのスイカ。「『どんなにかウマかったべな〜』と思ったでしょ。それ以上にウマかったです」だって。

この感性、この実行力、この表現力、そして、このバカバカしさ！

単に「スイカを食べる」ということだけでも、こんな『深さ』があるのです。

曰く「井の中の蛙、大海を知らず。されど井の深さと、空の高さを知る」

「卒業生の皆さんへ」

32R副担任 宮田 孝之

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんが二年生の時に本校に赴任してきて、次のことが印象に残りました。一つは、他学年にもいえることかもしれませんが、あいさつの良さです。教室にたどり着くまでに廊下で十回以上あいさつされる、ということも珍しくありませんでし

た。二つめは、授業の後に毎時間のように質問する勉強熱心な人がいたことです。皆さんの在り方に、教えられることも多かつたように思います。最後になりましたが、皆さんのご多幸を願っています。

「贈り物のお返しに」

33 R 副担任 福井 有希

卒業おめでとうございます。たった一年前に出会ったとは思えないほど、皆さんには多くのことを与えて頂きました。だから、出会った人みなそれぞれが幸多き人生を送ることができるよう、願わずにはいられません。

幸せの方程式は人それぞれです。お返しとしては不十分であるのは承知ですが、私の経験を贈る言葉にしたいと思います。

私が今大切にしているのは健康、家族、仕事の三つです。この三つは一度失ってしまえば取り戻すのが難しいけれど、あとのものは、後々買ひ足したり買ひ直したり手を加えていくことができますから。手段さえ整えば。むしろ、「あとのもの」は、その後修正や変更を加えていくことの方が大切なのだと感じるようになりました。そういう「自由な」自分に近づいていくことで、不思議と感動することが多くなった気がします。

さあ、これからも学びの旅は続きます。たくさん、そして深く学び、自由の翼を手に入れてください。

34 R 担任 緒方 孝

卒業おめでとうございます。みなさんとは三年間一緒に楽しく勉強させてもらいました。模範的な学習姿勢と生活態度、一丸となって行事に取り組む姿勢、日々全力で部活動に取り組む根性、友を心から思いやる優しさ…。毎日感銘を受けてばかりでした。市内他校を上回るのもちろんのこと、島根県内でみてもNO1の学年であったと思います。

私事ですが、みなさんの入学と同時に生まれた長女はもうすぐ三歳、三年次に生まれた次女は八か月になります。子どもとみなさんの成長が同時に見られたのが何よりも幸せでした。

「卒業生に贈る言葉」

34 R 副担任 山内 竜夫

先日、教え子の結婚式に出席してきました。

彼は、高校三年の秋、それまで考えていた医療系の道を急に変え、吉本の専門学校へ行き、お笑い芸人をめざすと言いました。随分と長い時間、彼と話し合ったような気がします。彼は一人でも多くの人に笑いを届けたいという夢を持っていました。その夢が叶うものかどうか、試してみたいのです。ある意味、その夢に見切りをつけるために、挑戦したいとも言いました。彼の思いが分かるだけに私は切なく思ったものです。

結局、彼は医療の道に進み、施設の現場で多くの方々を直接笑顔にし、そのご家族も含めて、より多くの人々に笑顔を届けています。

夢は追いかけるものでもあり、また待つものでもあると、私は考えています。これから、一途に夢を追いかけることができる人、まだまだ夢に手が届く機会を待たなければならぬ人、様々だと思いますが、東高の三年間で培ってきたつながりを大切に、前へ前へと進んでください。

私は、自身の夢が叶わない夢であると知る日が一日でも遠くあれと祈りつつ、みなさんが元気に帰ってきてくれる日を東高で待ち続けます。

「卒業するみなさんへ」

35 R 担任 橋本 恵一

あんなことがありました。こんなことがありました。笑って、泣いて、時々けんかもして…あつという間に三年間が経ちました。

私にとって高校生の時の一回目。赴任してから三年間の二回目。そして今回が三回目の松江東高校での三年間。どれも忘れられない思い出いっぱいです。三年生一人ひとりがかけがえのない仲間となり、素晴らしい時間を共有させてくれました。心からお礼を言いたいと思います。本当にありがとうございます。

覚えているでしょうか？学年集会で「今（＝PRESENT）は神様が私たちに平等に与えてくれたものなんだよ」と話したことを。私にとつ

でもみんなと過ごした三年間の全ての「今」がたくさんの経験と力を与えてくれました。苦しいときも、辛いときも、嬉しいときも、悲しいときも、「今」を大切に一生懸命に頑張ることが、きつと未来につながる。そう強く、強く実感させてくれました。そんな愛おしいみなさんのお別れは寂しいですが、今日の日の門出を心から祝福し、応援しています。これからも自分らしく頑張ってください。どんな時でも応援し続けて下さった家族に感謝をして、次の「今」に向かって歩みだしてください。

卒業おめでとう！元気で頑張ってください！！また会える日を楽しみにしています。

35 R 副担任 有藤 克巳

三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。二十九期生のみなさんと同じ学年部だったのは一年間だけでしたが、この一年間、明るく元気なみなさんに元気をもらって頑張れたなと感じています。私はみなさんに生物を教えたのです。が、たぶん難しく、えらくややこしく感じたのではないのでしょうか。でも、自分の最も身近なからだのことで、これからの人生できつと何か役立つことがあるのではと信じています。「生物」だけでなく高校の学習で得た知識は、今は感じられなくても、将来きつと生きていく上でのヒントとなるはず。もちろんこれからも多くのことを学んで知識を得る喜びを一生感じられる人になってください。

さて、これから新しい道に向かって旅立つみなさんですが、何事にも前向きに立ち向かってください。ストレスをため込まず、ポジティブな精神でいることは、健康を保つ上でとてもよいことであると最新の医学（生物学）でも証明されています。いつまでも明るく元気なみなさんでいてください。さようなら。

「贈る言葉」

36 R 担任 伊藤 淳史

卒業おめでとうございます。

熱心に取り組む掃除、元気な挨拶、模試の前の明るさ……たった一年間ではありましたが、とても楽しく過ごすことができました。感謝しています。ありがとうございます。

ところで、先日、「金持ち脳と貧乏脳」（茂木健一郎）という本を読みました。どちらのタイプも生まれ持ったものではなく、普段の生活の中のこととしたことを改善するだけで金持ち脳になれるとのことでした。「どのような十年後だったら自分は幸せか」ということをワクワクしながら考えるのもトレーニング方法の一つだそうです。（私は、もう十年後は想像もしたくないですが、……）未来の自分を考えて決めた進路だったでしょうが、最近、十年後よりも、目先のことを想像することが多かったと思います。高校生活はこれで終わりになります。ここがスタートラインです。二十歳前後の数年間はまだ未来に向けて力を蓄え

る時期です。毎日ワクワクしながら大人になった自分を想像し、目先の自己欲求を満たすことで満足してしまうのではなく、学び続けてください。その先にはきつと薔薇色の明日が待っていることでしょう。

「志を高く」

36 R 副担任 原 慶三

三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。人生の次のステージが皆さんを待っています。肝心なのはチャンスとともに訪れるピンチの時のシノギです。その意味で、岸本左一郎直樹（一八二二—一八五八）の言葉を贈ります。

現在の大田市大森に生まれた左一郎は、囲碁の才能を見込まれて、上京しますが、その才能が開花しかけたところで、家の事情で、帰郷を余儀なくされました。

その後、彼は地元にあつて囲碁の普及にあたるという途を選び『活碁新評』を出版します。この著書の序文を、当時、詩・書に優れ人気のある大坂の篠崎小竹に求めた際に、左一郎は述べたそうです。出版に至る経過を。「敢えて志をおとさず、心に潜めて」と。

その著書は現在の囲碁の本にも度々引用され、高く評価されています。皆さんも「志を高く」、これからの日々を過ごされることを期待します。

「学ぶ心を忘れずに」

学年付 正村 修

ご卒業おめでとうございます。皆さんはこれからそれぞれの道に進んでいくこととなりますが、進学するにしても就職するにしても常に何かを「学ぶ」ことが求められます。

そして、今まで以上に主体的に学ぶことと自分の頭で考えることが求められます。

最近では、テストのために勉強することや暗記することが学びであると考えたり、すぐに役に立つこと以外は勉強しなくてもいいといった風潮があると思います。しかし、自分で興味を持ったことや不思議に思ったことを追求していくところに学ぶ楽しさがあると私は思います。知的好奇心と学び続ける心を持って、これからの人生を切り拓いていってください。

皆さんのこれからの活躍をお祈りします。

学年付 宇津井 康 興

三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございませう。入学当初は、中学生から高校生になることにたくさんの方が荷がかり随分と苦労をしたことと思います。それに耐えそれぞれに頑張った三年間をたくましく成長した姿に感じて頼もしく思います。

さて、当たり前のことですが「蒔かぬ種は生えぬ」です。新しい場所でもそれぞれに新しい種を

蒔き、毎日水やりを欠かさぬようにしましょう。実りの多い人生を歩んで下さい。

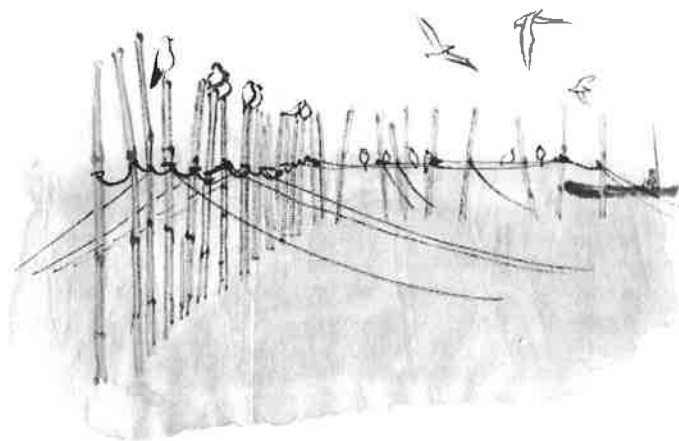
学年付 角 真佐子

三年生の皆さん、卒業おめでとうございませう。今、皆さんが入学された頃を思い返すと、私にとってはついこの間のことのように感じます。

学年が上がるにつれ、教室は保健室から遠くになつていくので、特に、一年生の頃が印象に残っています。一緒に掃除をしたり、健康診断をしたり、あるいは、保健室で様々な時間を過ごした思い出がよみがえります。が、それにつけても、この卒業の時を迎え、皆さんの見違えるように落ちていく大人になった態度や振る舞いに、感慨ひとしおです。

いよいよ、独り立ちの季節を迎えました。これからは、自分で自分を大切にすることが大切です。睡眠時間をしっかりと取って、三食、きちんと食べて、常に前を向いて（仮に、悔やむことがあっても、できるだけ短時間にとどめ）、目標に向かって一つ一つを積み重ねていきましょう。（三日坊主も、百回繰り返せば三百日！）

皆さんの、これからの活躍と末永い健康と幸せを祈っています。



平成25年度部活動成績

アーチエリー

《県春季大会》

少年女子シングルの 1位 田中 沙弥

2位 戸島 菜月

少年男子シングルの 1位 堀江 雄二

2位 寺本 雅史

2位 井塚 智士

少年男子50・30mの 1位 村竹菜々瀬

1位 奈良井 敦

少年男子50・30mの 1位 奈良井 敦

3位 杉原裕太郎

少年女子30mの 1位 佐々木愛美

2位 金山奈津子

少年男子30mの 1位 松浦 嵩

2位 川井 健吾

3位 杵築 海

《県総体》

女子団体の 1位

男子団体の 1位

女子個人の 1位 佐々木愛美

2位 村竹菜々瀬

3位 田中 沙弥

男子個人の 1位 堀江 雄二

2位 奈良井 敦

3位 杉原裕太郎

《国体県1次予選》

少年女子の 1位 佐々木愛美

少年男子

2位 寺本万由奈

3位 田中 沙弥

1位 奈良井 敦

2位 杉原裕太郎

《全国高校総体》

女子団体の 42位

女子個人の 178位 寺本万由奈

196位 田中 沙弥

197位 佐々木愛美

男子団体の 45位

男子個人の 198位 堀江 雄二

204位 奈良井 敦

215位 杉原裕太郎

223位 井塚 智士

《県秋季大会》

少年男子シングルの 2位 奈良井 敦

3位 杉原裕太郎

5位 山口 智央

少年女子シングルの 1位 佐々木愛美

2位 村竹菜々瀬

3位 金山奈津子

新人男子30mWの 3位 野津 勇斗

6位 田村 直也

7位 福田 翔太

8位 宇津宮 颯

新人女子30mWの 1位 丹羽菜津未

ソフトテニス

《県総体東部地区予選》

男子個人

寺田拓人・門脇守俊組 ベスト16

男子団体の 一回戦 2-1 横田

二回戦 2-1 隠岐島前

準々決勝 0-2 出雲(ベスト8)

女子個人の 間賀部千秋・山本結菜組 三回戦敗退

三代真実・北野未侑組 三回戦敗退

女子団体の 一回戦 0-3 大社

女子個人の 間賀部千秋・山本結菜組 三回戦敗退

女子個人の 間賀部千秋・山本結菜組 三回戦敗退

女子個人の 間賀部千秋・山本結菜組 三回戦敗退

女子個人の 間賀部千秋・山本結菜組 三回戦敗退

女子個人の 間賀部千秋・山本結菜組 三回戦敗退

女子個人の 間賀部千秋・山本結菜組 三回戦敗退

女子個人の 間賀部千秋・山本結菜組 三回戦敗退

女子個人の 間賀部千秋・山本結菜組 三回戦敗退

女子個人の 間賀部千秋・山本結菜組 三回戦敗退

女子個人の 間賀部千秋・山本結菜組 三回戦敗退

女子個人の 間賀部千秋・山本結菜組 三回戦敗退

女子個人の 間賀部千秋・山本結菜組 三回戦敗退

女子個人の 間賀部千秋・山本結菜組 三回戦敗退

女子個人の 間賀部千秋・山本結菜組 三回戦敗退

女子個人の 間賀部千秋・山本結菜組 三回戦敗退

女子個人の 間賀部千秋・山本結菜組 三回戦敗退

女子個人の 間賀部千秋・山本結菜組 三回戦敗退

女子個人の 間賀部千秋・山本結菜組 三回戦敗退

女子個人の 間賀部千秋・山本結菜組 三回戦敗退

女子個人の 間賀部千秋・山本結菜組 三回戦敗退

女子個人の 間賀部千秋・山本結菜組 三回戦敗退

女子個人の 間賀部千秋・山本結菜組 三回戦敗退

女子個人の 間賀部千秋・山本結菜組 三回戦敗退

女子個人の 間賀部千秋・山本結菜組 三回戦敗退

女子個人の 間賀部千秋・山本結菜組 三回戦敗退

女子個人の 間賀部千秋・山本結菜組 三回戦敗退

女子個人の 間賀部千秋・山本結菜組 三回戦敗退

二回戦 3-4 山陽高校

《国体予選》

男子個人

瀬尾 哲・門脇守俊組

三回戦敗退

稲葉善次郎・髻谷圭組

二回戦敗退

佐藤史弥・谷浦禎紀組

一回戦敗退

女子個人

三代真実・浅野優衣組

三回戦敗退

大島成実・生和じゅん組

三回戦敗退

間賀部千秋・山本結菜組

二回戦敗退

飯国紀佳・浜田華奈組

二回戦敗退

山田桃子・安達沙希組

二回戦敗退

中井里咲・津田 凜組

一回戦敗退

《県選手権》

男子個人

髻谷 圭・門脇守俊組

ベスト16

稲葉善次郎・谷浦禎紀組

三回戦敗退

佐藤史弥・出雲北陵(混成ペア)

一回戦敗退

女子個人

間賀部千秋・山本結菜組

三回戦敗退

三代真実・浅野優衣組

三回戦敗退

大島成実・生和じゅん組

二回戦敗退

中井里咲・川合亜実組

二回戦敗退

飯国紀佳・浜田華奈組

二回戦敗退

山田桃子・安達 悠組

一回戦敗退

津田 凜・三刀屋(混成ペア)

二回戦敗退

《県新人戦》

男子個人

髻谷 圭・門脇守俊組

ベスト16

稲葉善次郎・谷浦禎紀組

三回戦敗退

佐藤史弥・今田蒼一郎組

二回戦敗退

男子団体

一回戦

3-0 矢上

二回戦

1-2 出雲

女子個人

間賀部千秋・山本結菜組

ベスト16

三代真実・浅野優衣組

二回戦敗退

大島成実・生和じゅん組

二回戦敗退

飯国紀佳・浜田華奈組

二回戦敗退

中井里咲・川合亜実組

一回戦敗退

山田桃子・安達 悠組

一回戦敗退

安達沙希・津田 凜組

一回戦敗退

女子団体

一回戦

2-1 平田

二回戦

2-1 安来

準々決勝

1-2 石見智翠館

ベスト8

《インドア選手権》

男子個人

髻谷 圭・門脇守俊組

一回戦敗退

女子個人

間賀部千秋・山本結菜組

二回戦敗退

テニス

《島根県高等学校テニス個人選手権 松江地区予選》

男子 シングルス

5位

竹内 尚弘

女子 ダブルス

ベスト8

鵜飼・堀江

《島根県高等学校テニス個人選手権》

男子 シングルス

ベスト8

小谷 知広

女子 ダブルス

ベスト16

竹内 尚弘

男子 ダブルス

4位

小谷・竹内

女子

シングルス ベスト8

堀江 涼子

ダブルス ベスト32

岸本 梨沙

鵜飼 莉奈

鵜飼 莉奈

細田 愛梨

細田 愛梨

《山陰テニス選手権大会》

男子

シングルス 2位

小谷 知広

3位

竹内 尚弘

ベスト8

今岡 誠

女子

ダブルス 1位

小谷・竹内

ベスト8

鵜飼・堀江

《中国Jr選手権島根県予選》

男子

シングルス 3位

小谷 知広

6位

今岡 誠

2位

今岡・小谷

女子

ダブルス 4位

小谷・竹内

3位

今岡・安部

男子

団体戦 3位

北野

4位

堀江・鵜飼

5位

細田・榎野

6位

安戸

7位

安戸

8位

安戸

9位

安戸

10位

安戸

11位

安戸

男子 シングルス 3位 小谷 知広

ベスト16 今岡 誠

ベスト32 安部 貴之

男子 シングルス 2位 今岡 誠

ベスト16 安部 貴之

ベスト8 飛・今岡

女子 シングルス ベスト16 榎野 姫奈

ベスト8 原 香奈子

ダブルス ベスト8 榎野・原

岸本・松本

男子 シングルス 3位 小谷 知広

8位 今岡 誠

ダブルス 3位 小谷・今岡

ベスト16 飛・今岡

女子 シングルス ベスト32 榎野 姫奈

ダブルス ベスト16 榎野・原

《中国ユニアカリスマスターナメント島根県予選》

3位 小谷 知広

ベスト16 今岡 誠

男子 シングルス 2位 今岡 誠

ベスト16 安部 貴之

《中国高等学校テニス新人大会》

長澤・生垣

男子 シングルス 一回戦敗退 小谷 知広

一回戦敗退 今岡 誠

ダブルス 一回戦敗退 小谷・今岡

《岡山オーブン》

男子 シングルス 二回戦敗退 小谷 知広

二回戦敗退 今岡 誠

《中国ユニアカリスマスターナメント本戦》

男子 シングルス 19位 小谷 知広

《島根県高等学校体育連盟テニス部》

男子 1年生の部 ベスト32 徳力 祐樹

ベスト32 飛 陽介

《中国大会県予選》

男子一位 一次予選 一回戦 松江東 91-58 浜田商業

二回戦 松江東 93-26 出雲

二次予選 松江東 70-69 出雲北陵

松江東 110-33 松江北

松江東 88-52 矢上

松江東 64-59 松江西

ベスト5賞 石川智大 伊藤 光汰

女子二位 二次予選 松江東 75-40 明誠

松江東 84-36 出雲北陵

松江東 73-39 益田

松江東 51-71 松江商業

ベスト5賞 横田真凜

《中国選手権大会》

男子二位 一回戦 松江東 76-56 米子工業(鳥取)

二回戦 松江東 89-57 宇部工業(山口)

準々決勝 松江東 85-58 玉野光南(岡山)

決勝 松江東 63-96 如水館(広島)

《県総体》

女子ベスト8 一回戦 松江東 87-52 米子南(鳥取)

準々決勝 松江東 63-77 就実(岡山)

男子一位 一回戦 松江東 120-35 邇摩

二回戦 松江東 103-32 益田翔陽

準々決勝 松江東 128-32 松江商業

準決勝 松江東 99-63 矢上

決勝 松江東 88-55 出雲北陵

ベスト5賞 石川智大 永瀬 真

女子二位 二回戦 松江東 81-56 松江農林

準々決勝 松江東 89-53 松徳学院

準決勝 松江東 70-30 出雲北陵

決勝 松江東 68-76 松江商業

ベスト5賞 坂田菜里

《県選手権》

男子一位 二回戦 松江東 86-33 出雲

準々決勝 松江東 99-47 松江高専

準決勝 松江東 93-72 矢上

決勝 松江東 73-65 出雲北陵

ベスト5賞 金村淳史 大西 浩平

女子三位

二回戦 松江東 88-41 三刀屋
 準々決勝 松江東 68-58 松江南
 準決勝 松江東 54-55 明誠
 ベスト5賞 森田華乃

《全国高校選抜大会》

男子 一回戦 58-68 県立川内(鹿児島)

《県新人大会》

男子一位
 二回戦 松江東 98-25 益田
 準々決勝 松江東 108-30 出雲工業
 準決勝 松江東 78-30 出雲北陵
 決勝 松江東 72-71 松江西
 ベスト5賞 金村淳史 塚田哲也

女子三位

一回戦 松江東 81-56 松徳学院
 二回戦 松江東 76-56 松江農林
 準々決勝 松江東 64-54 益田
 準決勝 松江東 106-51 松江商業
 三位決定戦 松江東 66-49 出雲商業
 ベスト5賞 森田華乃

バドミントン

《中国県予選(4/19-21)》

於鹿島総合体育館ニューウエーブ
 学校対抗戦 女子一回戦 0-3 情報科学
 個人 女子ダブルス ベスト8
 小澤木ノ実・濱田美菜

《高校総体(5/30-6/1)》

於浜山総合体育館力ミアリーナ

学校対抗戦 女子一回戦 3-0 松江農林
 女子二回戦 0-3 松江商業
 個人 女子ダブルス ベスト32
 小澤木ノ実・濱田美菜

《県選手権(9/14-15)》

於浜山総合体育館力ミアリーナ
 個人 女子ダブルス ベスト32
 勝部友香・末次成美

《県新入戦(11/8-10)》

於鹿島総合体育館ニューウエーブ
 学校対抗戦 女子一回戦 0-3 松江北
 個人 女子ダブルス ベスト32
 勝部友香・末次成美

女子シングルス ベスト32

勝部友香 末次成美 三成ゆりあ

バレーボール

《中国県予選》

予選リーグ戦 2-0 平田
 2-0 松江北
 2-0 出雲西

2ブロック リーグ戦 0-2 松江農林
 0-2 江津

順位決定リーグ戦 2-1 三刀屋
 0-2 安来
 0-2 大社
 2-0 石見智翠館

第5位

《県総体》

二回戦 2-0 大田

三回戦 2-0 開星
 四回戦 0-2 大社
 ベスト8

《県選手権兼全日本バレーボール》

高等学校選手権大会県予選大会 0-2 出雲商業

ハンドボール

《中国高等学校ハンドボール選手権大会島根県予選》

男子 一回戦 松江東 21-25 江津
 女子 一回戦 松江東 34-11 浜田水産
 二回戦 松江東 8-17 松江南

※第3位

《中国高等学校ハンドボール選手権大会》

女子 一回戦 松江東 12-8 賀茂
 二回戦 松江東 8-39 岩国商業

※ベスト8

《島根県高等学校総合体育大会ハンドボール競技会》

男子 一回戦 松江東 13-25 江津
 女子 一回戦 松江東 12-11 松江市女
 二回戦 松江東 14-18 松江南

※第2位

《島根県高校新人ハンドボール大会》

兼山陰選抜県予選会
 男子 一回戦 松江東 27-16 江津
 二回戦 松江東 31-15 浜田水産
 三回戦 松江東 27-12 松江工業

※優勝(山陰選抜選手権大会へ出場)

女子 一回戦 松江東 18-14 江津
 二回戦 松江東 9-13 松江市女

※第2位 (山陰選抜選手権大会へ出場)

《高等学校ハンドボール選手権大会》

兼中国高等学校ハンドボール新人大会県予選

男子 一回戦 松江東 19-15 松江高専

二回戦 松江東 27-16 飯南

※優勝 (全国選抜中国予選へ出場)

女子 一回戦 松江東 24-9 浜田水産

二回戦 松江東 8-17 松江市女

※第2位 (全国選抜中国予選へ出場)

ボート

《さくらおろち湖レガッタ》

男子舵手付きクオドルプル

(安部・杉森・田中・星野・浦部) 1位

男子ダブルスカルA (門脇・奥山) 4位

男子ダブルスカルB (佐々木・中村) 7位

男子シングルスカルA (花井) 20位

男子シングルスカルB (寺田) 15位

女子舵手付きクオドルプル

(筒井・中山・松本・二村・河野) 2位

女子ダブルスカル (渡部・今岡) 3位

《県総体》

男子舵手付きクオドルプル

(安部・杉森・田中・星野・浦部) 1位

男子ダブルスカルA (門脇・奥山) 2位

男子ダブルスカルB (佐々木・中村) 4位

男子シングルスカルA (花井) 2位

男子シングルスカルB (寺田) 予選敗退

女子舵手付きクオドルプル

(筒井・中山・松本・二村・河野) 1位

女子ダブルスカル (渡部・今岡) 2位

《中国高等学校ボート選手権》

男子舵手付きクオドルプル

(安部・杉森・田中・星野・浦部) 優勝

男子ダブルスカル (門脇・奥山) 準決勝進出

男子シングルスカル (寺田) 予選敗退

女子舵手付きクオドルプル

(筒井・中山・松本・二村・河野) 優勝

女子ダブルスカル (渡部・今岡) 4位

《全日本ジュニアボート選手権大会》

男子シングルスカル (田中) 45位

男子シングルスカル (星野) 61位

女子シングルスカル (中山) 41位

《国体県予選》

男子舵手付きクオドルプル

(安部・田中・星野・他江津工業2名) 1位

男子ダブルスカル (田中・星野) 2位

男子ダブルスカル

(浦部・他江津工業1名) 4位

男子シングルスカルA (花井) 1位

男子シングルスカルB (杉森) 3位

男子シングルスカルD (門脇) 4位

男子シングルスカルC (寺田) 5位

男子シングルスカルE (奥山) 7位

男子シングルスカルF (佐々木) 8位

女子舵手付きクオドルプル

(筒井・中山・松本・二村・河野) 1位

女子シングルスカル (渡部) 1位

《国体中国ブロック予選》

男子舵手付きクオドルプル

(安部・田中・星野・他江津工業2名) 2位

女子舵手付きクオドルプル

(筒井・中山・松本・二村・河野) 2位

女子シングルスカル (渡部) 3位

《全国高等学校総合体育大会ボート競技》

男子舵手付きクオドルプル

(安部・杉森・田中・星野・浦部) 7位

女子舵手付きクオドルプル

(筒井・中山・松本・二村・河野) 準決勝進出

《国民体育大会》

男子舵手付きクオドルプル

(安部・田中・星野・他江津工業2名) 5位

女子舵手付きクオドルプル

(筒井・中山・松本・二村・河野) 準決勝進出

《県新人戦》

男子舵手付きクオドルプル

(安部・杉森・野津・門脇・南場) 優勝

男子ダブルスカルA (高橋・寺田) 2位

男子ダブルスカルB (門脇・渡部) 予選敗退

男子シングルスカルA (花井) 2位

男子シングルスカルB (奥山) 3位

男子シングルスカルC (佐々木) 予選敗退

女子ダブルスカル (中山・二村) 優勝

女子シングルスカル (渡部) 優勝

《選抜中国予選》

男子舵手付きクオドルプル

(安部・杉森・野津・門脇・南場) 2位

全国選抜ボート選手権大会へ出場決定 (3月)

女子ダブルスカル (中山・二村) 優勝

全国選抜ボート選手権大会へ出場決定 (3月)

女子シングルスカル (渡部) 5位

サッカー

《県総体》

一回戦 0-2 益田翔陽

《県選手権》

一回戦 1-1 大田 (PK 5-4)

二回戦 0-2 松江農林

《県新人戦》

二回戦 4-0 合同A

三回戦 0-1 松江農林

剣道

《中国大会県予選(4月)浜田》

男子団体戦 優勝

二回戦 松江東 5-0 島根中央

準々決勝 松江東 4-0 松江農林

準決勝 松江東 4-1 松江高専

決勝 松江東 3-0 大社

女子団体戦

一回戦 松江東 5-0 大東

準々決勝 松江東 1-3 出雲商業

男子個人戦

白根・小鹿(ベスト32)・水凌(ベスト16)

野津・飯塚・安達(ベスト8)

女子個人戦

江戸(ベスト16)

☆男子団体と個人戦で権利を獲得した七名は、中国大会へ出場

期日 6月21日〜23日

会場 岡山県総合グラウンド 桃太郎アリーナ

《県高校総体(6月)益田》

男子団体 準優勝

二回戦 松江東 4-0 飯南

準々決勝 松江東 3-0 出雲商

準決勝 松江東 2-0 出雲

決勝 松江東 1-3 大社

女子団体 ベスト8

一回戦 松江東 4-0 松江商

準々決勝 松江東 0-4 大社

男子個人

野津・田村 ベスト16

《中国高校剣道選手権大会(6月)桃太郎アリーナ》

男女個人戦

江戸：ベスト16 野津、飯塚：ベスト32

安達：一回戦敗退

水凌、小鹿、白根：二回戦敗退

男子団体 予選リーグ敗退

松江東 2-1 岩国

松江東 0-2 津山工業

《島根県国体選手最終選考会(7月)》

野津庄平・安達孝治・水凌徹哉が国体メンバーとして選考される。

《玉竜旗大会女子(7月)一回戦敗退》

一回戦 松江東 対 博多女子二人残し

《玉竜旗大会男子(7月)四回戦敗退》

二、三回戦 野津十人抜きを達成し表彰される。

二回戦 松江東 対 山村国際

三回戦 松江東 対 佐賀清和

四回戦 松江東 対 福大大濠が二人残し

(福大大濠が優勝)

《国体ブロック国体(8月)山口県》

第2位 野津庄平・安達孝治・水凌徹哉が活躍したが、惜しくも東京国体出場を逃す。

《島根県高等学校剣道選手権大会(10月)》

松江総合体育館(勝ち抜き戦)

男子団体 二回戦 対 三刀屋 相手大将残し

女子団体 一回戦 対 飯南 四人残し勝利

準々決勝 対 出雲商業 相手大将

残し敗退

個人戦

男子 伊藤 ベスト32

弓道

《中国大会県予選》

男子団体

(鶴原・長澤・大谷・津森・大江・川本)

予選 60射22中 敗退

女子団体 (山本・来待・桃井・岸根・笠原)

予選 60射11中 敗退

《県総体》

男子個人 長澤 健 第5位

女子個人

笠原智里・山本実花・岸根ひな 二回戦進出

男子団体

(鶴原・長澤・川本・津森・大谷・大江・永田)

予選 40射23中 予選6位通過

準決勝40射17中 第7位

女子団体 (山本・来待・桃井・岸根・笠原)

予選 40射12中 敗退

女子 岩崎 ベスト32

《島根県高校剣道新人戦兼中国新人兼》

全国選抜予選大会(12月) 大田市総合体育館

男子団体戦 第3位

一回戦 松江東 3-0 松江商業

二回戦 松江東 4-0 出雲

準々決勝 松江東 2-0 出雲商業

準決勝 松江東 0-3 横田

女子団体戦

一回戦 松江東 5-0 松江農林

準々決勝 松江東 0-3 大社

男子個人戦

藤原 ベスト16

女子個人戦

江戸 第3位

☆男子団体と女子個人の部は、3月15日～16日に広島県廿日市市で行われる中国新人剣道大会に出場。

卓球

《中国県予選》

男子団体 一回戦 3-0 安来

二回戦 0-3 松徳学院

男子ダブルス 4組参加 二回戦までで敗退

男子シングルス 9名参加

高橋 大海 ベスト64

《県高校総体》

男子団体 一回戦 0-3 松江高専

男子ダブルス 5組参加 三回戦までで敗退

男子シングルス 10名参加 高橋

大海 ベスト64

女子団体

二回戦 松江東 1-3 松江商業

女子ダブルス 栗原・中釜組 ベスト32

北野・佐々木組 二回戦敗退

女子シングルス 栗原沙瑛 ベスト32

他 4名 三回戦までで敗退

《県高校選手権》

男子ダブルス 三組参加 二回戦までで敗退

男子シングルス 六名参加 二回戦までで敗退

女子ダブルス 一組参加 二回戦までで敗退

女子シングルス 三名参加 中釜遥 ベスト64

《県新人大会》

男子団体 予選1次リーグ敗退

男子シングルス 六名参加

安部 岳志・松岡 亮太 ベスト64

女子シングルス 三名参加 二回戦までで敗退

陸上

《出雲陸上》

女子三〇〇〇M 1位 口羽幸乃

《全山陰陸上》

女子三〇〇〇M 1位 口羽幸乃

女子一〇〇〇M H 5位 廣瀬佳乃子

《県選手権》

女子三〇〇〇M 5位 口羽幸乃

女子一〇〇〇M H 7位 廣瀬佳乃子

《県総体》

女子三〇〇〇M 5位 口羽幸乃

女子一〇〇〇M H 3位 廣瀬佳乃子 (中国大会出場)

女子一〇〇〇M H 3位 廣瀬佳乃子

(中国大会出場)

《県新人戦》

2年男子一〇〇〇M 4位 足立祥史

2年女子一〇〇〇M 6位 伊達日向子

《県駅伝》

男子 16位

野球

《島根県高等学校春季野球大会東部地区予選》

二回戦 0-15 立正大学 松江工業

《松江地区高等学校野球大会》

一回戦 18-14 松江工業

二回戦 5-15 開星

《第九十五回全国高等学校野球選手権島根大会》

一回戦 9-0 明誠

二回戦 1-12 開星

《島根県高等学校秋季野球大会》

一回戦 0-13 浜田

吹奏楽

島根県東部地区吹奏楽祭 出演

6月2日(日) 島根県民会館

第20回定期演奏会 開催

6月8日(土) プラバホール

第21回松江八東バンドフェスティバル 出演

7月15日(土) 島根県民会館

第54回全日本吹奏楽コンクール島根県大会

銀賞受賞

8月4日(日) 出雲市・出雲市民会館

課題曲：「エンターテインメント・マーチ」

(川北 栄樹)

自由曲：バレエ音楽「シンデレラ」より
(プロコフィエフ)

東高三十周年記念東雲祭文化の部にて演奏

8月30日(金) 島根県民会館

川津公民館クリスマスコンサート 出演

12月14日(土) 川津公民館

法吉デイサービスセンター クリスマス会 出演

12月21日(土) 法吉デイサービスセンター

第37回全日本アンサンブルコンテスト島根県大会

12月22日(日) 川本町・悠邑ふるさと会館

打楽器4重奏 賞

木管8重奏 賞

弦楽

松江東高校弦楽部 第8回定期演奏会 開催

5月3日(金) プラバホール

松江東高校合唱部 第14回定期演奏会 出演

6月2日(日) プラバホール

第8回島根県高等学校文化フェスティバル 出演

7月13日(土) 石中央文化ホール

第37回全国総合文化祭・器楽管弦楽部門 出演

8月3日(土) (長崎市)

松江東高校東雲祭(文化の部)

中庭コンサート 開催

8月31日(土)

島根県中学・高校弦楽クラブ合同演奏会 出演

10月10日(木) プラバホール

図書委員会主催 クリスマス会 出演

12月20日(金)

しまねシンフォネット高校オーケストラ

第14回定期演奏会 出演

2月2日(日) グラントワ

知事と語ろう！高校生フォーラム(松江地区) 出演

2月7日(金) 県民会館中ホール

合唱

第15回定期演奏会(6月2日 プラバホール)

NHK全国学校音楽コンクール県大会 奨励賞

(8月10日 プラバホール)

第52回全日本合唱コンクール県大会

高校Aの部(混声合唱) 銅賞

(8月18日 プラバホール)

書道

高文連書道コンクール結果

特選 三年 森脇 晴美

秀作 三年 松尾 美咲

秀作 三年 寺西 まほ

秀作 二年 久保田恭佳

秀作 二年 宮本 侑佳

秀作 二年 小森日菜子

秀作 一年 安部日菜子

第46回島根県高校書道展

全国高等学校総合文化祭

富山大会推薦作品

二年 久保田恭佳

奨励賞 二年 宮本 侑佳

尚古堂賞 二年 小森日菜子



美術

平成25年度総体ポスター

優秀賞 鈴木弘明

佳作 岸本早代

平成25年度高文連松江地区絵画コンクール

入選 14名

岸本 早代 島田みずき 鈴木 弘明

野津 光平 渡部ありさ 山内 モモ

足立麻由香 三成 春菜 八尾佳名子

城市奈緒子 森脇 茜 梶野 雅貴

大塚 友貴 廣江 爽

第46回県高校美術展 12/13~16

絵画の部 入選作品17点

足立麻由香 山内 モモ 渡部ありさ

八尾佳名子 三成 春菜 鈴木 弘明

野津 光平 梶野 雅貴 坂本麻友美

城市奈緒子 大塚 友貴

平成26年度全国高校総合文化祭

茨城大会美術・工芸部門出品推薦

(絵画部門) 「他人」 八尾佳名子

文化創造

【放送部門】

第49回県高等学校放送コンテスト東部地区予選

6名入賞

第49回県高等学校放送コンテスト

テレビドキュメント部門 最優秀賞

ラジオドキュメント部門 優秀賞

朗読部門 6位 今村美咲

アナウンス部門 3位 香川萌七美

【演劇部門】

平成25年度高文連文学専門部県コンクール

随筆部門 松原 直輝「王家のかくれが」

優秀作2位

松原 直輝「修復に見る東洋精神」

優秀作4位

*第28回全国高等学校文芸コンクール 出品

詩部門 谷本 旭「上り坂」 優秀作6位

*第28回全国高等学校文芸コンクール 出品

詩部門 松原 直輝「集合E」 優良作

自然科学

県高文連自然科学学部実験・観察研修会参加

県高文連自然科学学部研究発表会参加

展示発表

「手作り紙は本当に使えるのか」

今尾匡志 優良賞

「学校の池の調査」

鈴木飛翔 岡田智司 優良賞

JRJC

あしなが育英募金活動

島根県高等学校青少年赤十字メンバー春季協議会参加
学園祭バザー・かき氷販売→収益金を年末義援金、東

北大震災義援金・島根県水害義援金として寄付

幼稚園訪問(週二回)

日本赤十字社島根支部主催リーダーシップトレーニング

グセンター参加

地域(美保関)の方々との交流・海岸清掃

島根県高等学校青少年赤十字メンバー秋季協議会参加

*本校は研究発表をし、最優秀賞受賞

松江地区第一回ブロック行事参加

(救急法についての研修会)

松江地区第二回ブロック行事参加

(募金活動：フィリピン台風30号災害義援金として寄

付)

茶道同好会

東雲祭(文化の部)でお茶席を開催

収益金を島根県平成25年7月28日 大雨災害義援金

として日本赤十字社島根県支部に寄付

調理

東雲祭(文化の部)でアイスクリーム販売

収益金を東日本大震災義援金として寄付



PTA会務報告

※全国、県高P連関係事業

平成25年度会務報告（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

1、※第55回中・四国地区高P連大会（島根大会）第1回実行委員会

4月27日（土）

【場所】サンラポーむらくも

【出席者】原田会長、村上校長、坂本総務部長

2、第1回常任理事会 5月2日（木）

【議事】

(1) 平成24年度会務報告・委員会活動報告

(2) 平成24年度PTA会計収支決算報告

(3) 平成25年度新役員候補者提案

(4) 平成25年度PTA事業計画提案

(5) 中・四国地区高P連研究大会島根大会について

(6) 平成25年度PTA会計予算案審議

(7) 『生徒の自家用車での送迎についてのお願ひ』について

(8) 平成24年度生徒活動後援会会計決算報告

(9) 平成25年度生徒活動後援会会計予算提案

3、第1回役員会 5月11日（土）

【議事】

(1) 学校近況報告

(2) 平成24年度PTA会務報告・委員会活動報告

(3) 平成24年度PTA会計収支決算・監査報告

(4) 平成25年度新役員候補者提案

(5) 平成25年度PTA事業計画提案

(6) 中・四国地区高P連研究大会島根大会について

(7) 平成25年度PTA会計予算提案

(8) 平成24年度生徒活動後援会会計収支決算・監査報告

(9) 平成25年度生徒活動後援会会計予算提案

4、PTA総会 5月11日（土）

【議事】

(1) 学校近況報告

(2) 平成24年度PTA会務報告・委員会活動報告

(3) 平成24年度PTA会計収支決算・監査報告

(4) 平成25年度新役員候補者提案

(5) 平成25年度PTA事業計画提案

(6) 中・四国地区高P連研究大会島根大会について

(7) 平成25年度PTA会計予算提案

5、生徒活動後援会総会 5月11日（土）

【議事】

(1) 平成24年度生徒活動後援会会計収支決算・監査報告

(2) 平成25年度生徒活動後援会役員提案

(3) 平成25年度生徒活動後援会会計予算提案

6、学年PTA 5月11日（土）

7、※平成25年度県高P連第1回評議員会・安全互助会第1回理事会

5月18日（土）

【場所】江津市総合市民センター

【出席者】原田前会長（監事）

8、※平成24年度県高P連・安全互助会総会 6月8日（土）

【場所】サンラポーむらくも

【出席者】村上校長

9、第1回各委員会（研修、広報、生活、進路） 6月14日（金）

【内容】事業計画（各委員会報告参照）

10、※第55回中・四国地区高P連大会（島根大会）第2回実行委員会

6月29日（土）

【場所】サンラポーむらくも

【出席者】奥田会長、村上校長、坂本総務部長

11、※第55回中国・四国高等学校PTA連合大会島根大会

7月11日（木）～12日（金）

【場所】島根県民会館

【テーマ】「縁を結び 絆を育む」～PTAから拡がる輪 だんだん～

【内容】研究協議「学校教育とPTA」、「家庭教育とPTA」、「地域

おこしとPTA」

高校生のアトラクション 太鼓（出雲農林）、ダンス（大社）、

郷土芸能（浜田商業）

講演 島根大学教育学部初等教育開発講座講師

香川奈緒美氏

【出席者】生和副会長他保護者21名、村上校長他教職員11名

12、進路講演会（進路指導委員会主催） 7月6日（土）

【場所】 視聴覚室

【講師】 蔵下克哉氏（キッズコーポレーション受験生援護センター）
【テーマ】 大学入試の現状と今後の学習対策について

13、※第63回全国高等学校PTA連合会大会

8月22日（木）～23日（金）

【場所】 山口県スポーツ文化センター、山口市市民会館ほか

【テーマ】 メインテーマ：夢から志へ

サブテーマ：たくましく生きるチカラを育むために、今、
私たちができること

【内容】 全体会歓迎アトラクション 朗唱

基調講演 内閣総理大臣 安倍晋三氏

高校生アトラクション お笑い体操：防府商工高校
分科会 「学校教育とPTA」「進路指導とPTA」

「生徒指導とPTA」「家庭教育とPTA」

「地域社会総掛かりで教育現場を支える」

「高校再編とPTA」

【出席者】 奥田会長、村上校長

14、ガーデンニング講習会（研修委員会主催） 8月24日（土）

【場所】 はなワールド

【内容】 ガーデンコーディネーター 玉木秀雄氏
「ハイドロカルチャー（観葉植物）づくり」

【参加者】 26名

15、東雲祭

【文化の部】 8月30日（金）～31日（土）：ガーデンニング作品展示

【体育の部】 9月5日（木）

16、※第55回中・四国地区高P連大会（高根大会）第3回実行委員会

10月5日（土）

【場所】 サンラポーむらくも

【出席者】 奥田会長、村上校長、坂本総務部長

17、PTA研修旅行 10月5日（土）

【内容】 芸術鑑賞「宝塚観劇日帰りバスツアー」
宝塚歌劇「風と共に去りぬ」観劇後、三田アウトレットモールへ

【参加者】 30名

18、PTA研修会（進路指導委員会主催） 11月2日（土）

【場所】 視聴覚室

【講演】 講師 吉村真一氏（駿台予備校）
演題 「大学入試の現状と受験に向けての心構え」

※カリキュラム説明会（1、2年）にあわせて開催

19、※島根県PTA連合会合同研修会12月7日（土）

【場所】 鹿島文化ホール 研修ホール

【テーマ】 「つなぐ つながる PTA活動」

基調講演講師 貝ノ瀬 滋（東京都三鷹市教育委員会委員長）
パネルディスカッション 「学校と家庭と地域の連携」
コーディネーター

山本 芳正（島根県教育庁社会教育課社会教育主事）

飯塚 弘紀（島根県幼稚園PTA連合会長）

津森 良治（島根県PTA連合会会長）

松尾 強（島根県高等学校PTA連合会会長）

伊藤まゆみ（島根県特別支援学校PTA連合会会長）

【出席者】 なし

20、第2回常任理事会 2月22日（土）

【議事】

（1）平成24年度会務報告・委員会活動報告

（1）平成24年度PTA予算の執行状況報告

（1）平成25年度PTA事業予定

21、第2回役員会 2月22日（土）

【議事】

（1）学校近況報告

（1）平成24年度会務報告・委員会活動報告

（1）平成24年度PTA予算の執行状況報告

（1）平成25年度PTA事業予定

22、進路研修会 3月15日（土）

【場所】 視聴覚室

【内容】 ①1、2年生の現状

②進学マネープラン説明会（業者による）
奨学金、教育ローン等についての説明

新任教職員紹介

次の四項目に答える形で紹介します。
(アイウエオ順)

- ①教師にならなかつたら何になつていきますか。
- ②先生の高校生活を具体的に語ってください。
- ③苦手なものを一つだけ教えてください。
- ④今ハマっていることは何ですか。

朝槻真也

担当学級(16R) 担任
担当教科(数学)

- ①島根県のどこかで働いていると思います。
- ②三年生の七月まで部活動のために通学していました。ある友人によると「一年の冬から勉強もしていた」らしいですが記憶はありません。部活動引退後は勉強していたこと以外の記憶はありません。三年間とてもつまらかったです。
- ③長距離走がダメです。
- ④紅茶を飲むことです。

伊藤淳史

担当学級(36R) 担任
担当教科(数学)

- ①就活は金融関係を回っていたので、おそらくはその方面に勤めていたと思います。
- ②部活動は残念ながら、途中でやめてしまいました。

た。よく勉強していました。

- ③痛いこと。暑さ、寒さには比較的耐えられますが、痛いのはだめです。
- ④アイスクリームを食べること。

岩井大輔

担当学級(一年) 学年付
担当教科(数学)

- ①教師以外の選択肢はあまり考えたことがありませんが、家業を継いでいたか、小学生の頃の夢であったアナウンサーになっていたかもしれない。
- ②部活動には入らず、家と学校の往復でした。英語は緒方先生に教えていただきました。英語は超不得意科目だったので、かなり面倒をかけていたと思います。
- ③茄子はどうしても苦手です。
- ④弓道です。

内田大樹

担当学級(一年) 学年付
担当教科(英語)

- ①やりたいことがいろいろあったので、答えるのが難しいですが、偏食を通して身に着けた「野菜抜き」のおかげで手先が器用になったと思います。その技術を活かして、治療の上手な歯科医になつていたと思います。
- ②今思うと、ものすごく生意気で、先生と衝突ばかりしていたような気がします。(その割には、僕は生徒に恵まれているので、昔のことを思い

出すと反省することばかりです。)

- ③野菜
- ④東高の食堂(おすすめは、親子井とみそカツ丼直球系にハズレなし)

太田知伸

担当学級(12R) 副担任
担当教科(音楽)

- ①自動車ディーラーのセールスマン
- ②吹奏楽部に所属し、部活ばかりしていました。数学が苦手なのに理系を選び最後まで後悔。お弁当は三限のあとには食べてしまい、昼は学食でラーメンやうどんを食べる(でも片道十七キロの自転車通学のおかげで肥満ではなかった)。予習をしてない授業は、ペランダに立ったまま授業を受けることも(反省しています)。
- ③納豆：同じテーブルで人が食べるのも嫌です
- ④低カロリーの食品や、ゼロカロリーの炭酸飲料

岡崎由希

学校司書

- ①転職前がOLだったので、そのままOLをやっていたと思います。
- ②勉強は英語と数学に苦しめられました。部活と生徒会活動ばかりやっていました。ちなみに、部活は和太鼓部。あまり他校にない部だったので、いい経験ができたなと思います。
- ③病院(血や手術シーンなどが基本的に苦手...)
- ④司書仲間から誘われてはじめた日舞。(基本的に和のものは好き)

小松正道

担当教科(保健体育)

担当学級(11 R 副担任)

- ①警察官：剣道が出来る環境を真剣に考えていた。(今は、教員の道を選んで良かったと思っています)

- ②剣道三昧：稽古→ランニング・トレーニング。

稽古→素振り千本。稽古→稽古のパターンで日々過ごす。常に限界と思われるところまで鍛えていたので家に帰ると動けなくなっていた。勉強は…。

- ③ホラー映画。

- ④黒子のバスケ：黒子と火神の成長。ウィンターカップの結果。など気になってしょうがない。

佐藤秀人

担当教科(保健体育)

担当学級(25 R 副担任)

- ①消防士：人の役に立ちたいと思っていました。

- ②ポートのみ：「おまえはオールが恋人か」と言われていました。

- ③冬場の雨：寒い中、雨に打たれながらの練習はきつい。

- ④子供との時間をつくること。

新宮 一

担当教科(数学)

担当学級(21 R 副担任)

- ①医者か本屋かおもちゃ屋といったところでしようか。

- ②帰宅部だったので、放課後は教室に残って勉強したり、友達とたわいもない話をして時間を過ごしていました。今思うと、もうちょっと時間を有効に使えばよかったですと思っています。

- ③教育。苦手なことに、挑戦する日々です。

- ④ユーキャンの通信添削講座です。CMでやっていたので、やろうかなと思いました。

陶山裕史

担当教科(歴史公民)

担当学級(二年 学年付)

- ①銀行員になっていました。採用試験に合格するまで、練習用の札束でお札を数える練習をしていました。

- ②どの先生もけっこう怖くて、授業中はかなり緊張していました。とくに国語と数学は三年間緊張し続けていたため授業の内容をあんまり覚えていません。軟式テニス部で燃え尽きました。

- ③家族の中で私だけ納豆が食べられません。

- ④家に帰って犬と戯れること。

多賀秀哉

担当教科(日本史)

担当学級(26 R 副担任)

- ①あまり考えたことありませんが、どこかでのんびりしていると思います。

- ②具体的に語ってしまおうと、今後教師としてやっていけなくなるのでやめておきます。教育実習で東校に来たとき、高校の恩師から「あんた変わったね」と言われたくらいですから。

- ③人前での挨拶と自己紹介。何をしゃべっていいかさっぱりわかりません。

- ④ドライブ。そろそろお別れになるチョロQとの最期の時間を楽しんでいきます。

玉木伸人

担当教科(生物)

担当学級(二年 学年付)

- ①農業機械の販売と修理をする仕事。

- ②・学校からの帰り道の途中にある公園で、野球(プラスチックバットにゴムボール)、せんだみつおゲーム(負けた人が罰ゲーム受ける)。

- ・学校からの帰り道の途中にある商店での買い食い(ガリガリ君の当たりが出るまで食べ続けることができるのかなどの検証)。

- ③しいたけ。

- ④録画しておいた「相棒」をみること。

中村伯也

担当教科(国語)

担当学級(32 R 担任)

- ①隠岐水産高校で講師をやっていた時、当時の校長に「おまえは国語で教員採用試験に受かるはずないから、マグロ船に乗れ」と言われました。ちなみに、なぜ隠岐水で講師をしていたかという、広告の製作会社に落ちたからです。

- ②山岳部のキャプテンでした。毎日欠かさずラジオの「気象通報」を聞いて、天気図を書きました。ちなみに、女子バレー部のキャプテンは、江角マキコさんという人だっと思っています。

③「ゆず」と「宇津井先生」。ちなみに、宇津井先生とは三つの高校で一緒に働き、宇津井先生の三人のお子様の内二人を担任しました。

④「どつぽ」です。ちなみに、意味は…、自分で調べましょう。

深津 学

担当教科(世界史)

担当学級(補習科 副担任)

①たぶんどこかの会社で働かせてもらっていると思います。

②弁当を二つ持ったの登校。部活動三味の毎日でした。帰宅後は食後にうたた寝、風呂に入って寝るといふ毎日。今思うともっと勉強する時間を確保すべきだったなと後悔しています。生徒会執行部に入り体育委員長をさせてもらいました。みんなで創った学園祭は思い出に残っています。

③高野豆腐です。あのスポンジみたいな口あたりが苦手です。

④ラーメンの食べ歩きです。塩にはまっています。

福井有希

担当教科(英語)

担当学級(33R 副担任)

①東京で会社勤め。つまりOLになっていたと思います。そういう生活に憧れて東京に出たので。「空港」か「ホテル」か「デパート」が希望でした。

②何をしていても楽しい三年間でした。愉快的仲間

生まれ、ケラケラ笑ってばかりいたような…。

勉強も中学時代とは違い、初めて家庭学習習慣を身に付け、深夜のラジオ番組などを聞きながら、結構ハマると楽しかったです。

③一つには絞れません。「機械」と「地図」と「運動」の三つです。

④「最近」ではないですが、ここ数年、ボールペンはJESTREAM3(0.7または0.5)のみ。書き心地にハマりますよ。

松本晶子

教育業務補助支援員

①幼い頃は洋服屋さんで働きたかったです。結局は普通の会社員になりました。

②毎日の英語小テストと、毎月のテストに追われていました。友達には恵まれていたので、あまり悩むこともなく穏やかに過ごしていました。

③納豆

④ふくらはぎをもむこと。免疫力UPを目指しています。

山本女理

養護助教諭

①保育士か栄養士

学生の頃から料理と子供が好きだったのできつとそれらに関わる仕事に就いていたと思います。

②部活・遊び；勉強118；2

吹奏楽部と和太鼓部に所属し、平日は学校+部活と休日は部活動で各地のイベントに参加し忙しい学生生活でした。とにかく遊びが楽しくて

仕方のない高校生でした。友人にも恵まれ楽しい三年間でした

③高いところ。

④美味しい飲食店、雑貨屋巡り。

島根に来て六年目になります。まだまだ知らないところが沢山あるので素敵なお店を発見していきたいです。



11 R 南場安正

「テイコ」：わが子が東高に入学したことで初めて耳にしたその響きに、戸惑いを感じたのを今でも思い出す。部活の様子を母に熱く語るわが子の口から、親しげに繰り返されるその名に、誰かと振り返る父であった。その名は、確かに、わが子の学生生活の充実ぶりを表していた。テイコ、テイコ、テイコ：艇庫！

12 R 安食 英典

息子が東高に入学してあつという間の一年でした。学校の話は自分からあまりしませんが、きっと先生方や先輩方、友達のみなさんのおかげでこの一年通えたことと推察し、感謝の気持ちでいっぱいです。30周年の節目を迎えた東高を保護者として、またOBとして今後も変わらず応援していきたいと思えます。最後になりましたが会報発行にあたりご協力いただいた方々に御礼申し上げます。

13 R 岸本美智子

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。それぞれに進路も決まり、希望と不安でいっぱいではないでしょうか。これから先いろんな困難が待ち受けていると思います。ですが、東高での三年間を思い出に乗り越えていってください。

一、二年生の皆さんは、自分の希望の進路に近づけるよう悔いのない高校生活を送ってください。我が家の娘ですが、自由登校になったある日、「私、東高に行つてよかった」といいました。部活をしに学校へ行っているような子でしたが、親が感じるよりも充実した高校生活を送っていたのだなど安心しました。

最後になりましたが、先生方他の広報委員の皆さん、ご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。

14 R 永原 慈

担任の先生から学級役員の依頼があつた時には正直かなり躊躇しました。でも、普段の仕事とは異なるPTAの活動を通して、私にとって「組織の一員である自分」の意味と、組織がきちんと機能していることが、現在の「当たり前」な通常の毎日があり、その中で自分がどうあるべきか、など考える良い機会になりました。この一年間はいろいろ考えさせられることも多くありましたが、子どもを通して、PTA活動を通して、たくさんの方とお会いできたことやいろいろな経験は自分の糧になったと思います。貴重な体験をさせていただいたこと、感謝しています。ありがとうございました。

15 R 松本真佐子

三年生のみなさん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

東雲祭などで、東高へ足を運んだ時に見る三年

生のみなさんの明るく、そしてしっかりとリーダーシップをとってくださる姿を、いまでも鮮明に思い出します。

また、校内音楽会での校長先生をはじめとする教職員のみなさまの笑顔いっぱい姿、生徒のみなさんのまっすぐに取り組む姿、そして三年生のリードで生まれる会場の一体感！

観客として会場を訪れた私たちも、みなさんのその姿に元気を分けて頂きました。

この一年、広報委員の仕事をさせて頂いたおかげで、東高に関わらせて頂く時間を多く持てたことに、心から感謝申し上げます。

東高のみなさんの、まっすぐに明るい姿と個性が、これからもどんどん伸びて行きますように。

16 R 船越 紀子

末っ子の娘が入学して一年が経とうとしています。我が子は三人とも東高で、お世話になることになりました。

この東高でたくさんの方との出会いがあつたと思います。

「人生を変える出会いに高名、無名は関係なく、素晴らしき出会いを得た人生ほど豊かなものはない」と、ある方から聞いたことを思い出しました。

この東高で過ごす三年間は、これからの人生で、かけがえのないものになるはずで

す。良き先生、良き先輩、良き後輩と出会い、いろんな経験をして大きく成長してほしいものです。



〔表紙の絵〕
〔題 字〕

〔他人〕 24 R 八尾佳名子

PTA会報 森脇 哲朗 (旧本校教員)

高山 上田久美子 (十三期生保護者)